



## 拝啓、県立図書館のことはよく知らないけれど たまたまこのリーフレットを手にした皆さんへ

愛媛県立図書館長  
井原 恒久

私たちは「県民にとって役に立つ図書館」を目指して、様々なサービスをご用意して皆様をお待ちしています。ここに、県立図書館が提供するサービスの一端をご紹介しますので、目を通していただけたら幸いです。なお、それぞれの文末の（ ）内は、各サービスを主に担当する図書館内の階です。

### ちょっとマニアックな本を探している方へ

これこそ私たちの最も得意とするところです。ベストセラー小説は市町の図書館に譲って、その分、ちょっと専門的な図書の収集に努めているのが県立図書館です。まずホームページで蔵書を調べていただくか、あるいは直接ご相談ください（連絡先等は裏表紙の6ページ下をご覧ください）。もし当館にはなくても、国立国会図書館をはじめ全国の図書館からの取り寄せもできます。（1・3・4階）

### 子育てのことでけっこう悩んでいるお母さん・お父さんへ

図書館内に「子育て支援情報コーナー」を設けて、子どもへの接し方・スキンシップを中心に、子育てに関係する様々なジャンルの本を揃えていますから、一度足を運んでみてください。悩みを解決する良いヒントが見つかるかもしれません。ほかにも次のような特設コーナーを設けているので、ぜひお役立てください。（3階）

- ・医療や健康のことを詳しく調べたい方は  
→「医療健康情報コーナー」へGO
- ・今どきのビジネスの知識を得たい方、  
新たに開業・起業を考えている方は  
→「ビジネス情報支援コーナー」へGO
- ・青春を充実させたい学生は  
→「YA（ヤングアダルト）コーナー」へGO

### 学級活動や総合学習で、子どもに読書のすばらしさを伝えたい先生へ

もしよろしければ、当館の職員が学校にお伺いします。県立図書館には、子どもたちに本を紹介して、読書の楽しさ・大切さを伝えるブッ

クトークのプロが揃っています。紹介する本のテーマについては幅広く相談に応じますし、小学校から高校まで対応が可能です。（1階）

### 俳句を今から始めたい方、俳句の世界を極めたいと張り切っている方へ

俳句関連の本については、県立図書館は絶対の自信あり！です。戦前から高浜虚子らが収集してきた「伊予俳諧文庫」を核に、虚子の個人蔵書や図書館独自の収集資料を加えて、今や何と1万8千点余り。俳句に限って言えば、全国有数の規模です。とはいうものの、これから俳句を始めたい方への入門書も、もちろん取り揃えてお待ちしています。（4階）

### 愛媛のプロスポーツを熱く応援しているファンの方々へ

愛媛FC（プロサッカーのJリーグ）・愛媛マリンパイレーツ（プロ野球の四国アイランドリーグ）をこよなく愛するファンの皆さん、県立図書館が両チームの情報を集めていることを知っていますか。両チームから発行された選手名鑑やフリーペーパー、特集記事が掲載された雑誌やチーム・選手を取り上げた本などを揃えて、「愛媛プロスポーツアーカイブズ」のコーナーをつくっています。（3階）

### 「図書館のことを知りたい！」とひそかに思っている君へ

小学生の君は、「ひみつの図書館たんけんツアー」に参加して図書館の館内を探ってみよう。中学生の君は、図書館での職場体験を通じて図書館の仕事を知ろう。高校生の君は、「小論文作成のための図書館の使い方」のミニ講座を受講して、情報収集に図書館を活用してみよう。そして大学生の君、図書館のインターシップを体験して「図書館で働きたい。」という気持ちを持ってくれたら、最高にうれしく思います。とにかく県立図書館は、図書館に興味を持ってくれる若い人たちを大歓迎します！（1・3階）

## 愛顔(えがお)つなぐえひめ国体・えひめ大会文化プログラム事業

愛媛県立図書館では、「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体・えひめ大会文化プログラム事業」として、次の展示を行います。

### 「タイムスリップ! 64年前の国体@堀之内」

いよいよ、「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体・えひめ大会」が始まります。愛媛での開催は、64年ぶり、2回目です。前回の第8回国民体育大会は、昭和28年(1953年)に愛媛県単独ではなく、四国四県で合同開催されました。そして、その開会・閉会式は、なんとここ、松山市堀之内で行われました。

愛媛県の主会場となった堀之内は、国体のための新たな建物が造られ、大きく変わります。その当時の様子を、新聞記事や写真、地図などの資料で振り返ります。

また、複製した当時のポスターを多数展示しています。64年前の国体の熱気を感じていただいて、「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体・えひめ大会」を迎えていただければ幸いです。



(図書整理グループ 中村 由紀)

### 「安倍能成を知る」

愛媛県立図書館では、えひめ国体・えひめ大会に伴い、愛媛県美術館で開催する「安倍能成展」に関連して、当館所蔵の安倍能成の著作や安倍能成について書かれた図書及び雑誌(「世界」・「三豫人」等)を展示しています。

今回の展示タイトルでもある「安倍能成を知る」には、まず自叙伝『我が生ひ立ち』(昭和41年 岩波書店/発行)をお勧めします。哲学者でもあり教育者でもあった彼の幼少時から、戦後の昭和21年頃までのことが詳細に記されています。家族のこと、小学校・中学校時代のクラスメートのこと、漱石のこと、滞欧中のこと等、とても読みやすく、当時の暮らしぶりが窺えます。

雑誌「世界」には、創刊号から携わり、多くの論文を寄稿しています。見開きの「愛媛県立図書館創立二十周年記念画帳」には、久松定武、高浜虚子、柳原極堂と並んで直筆の書『読<sup>よ</sup>み<sup>お</sup>も<sup>う</sup>思』を寄せています。



(図書整理グループ 齋藤 桂子)

展示期間 平成29年9月1日(金)~10月29日(日)

展示場所

「タイムスリップ! 64年前の国体@堀之内」

★4階えひめ資料室内 壁面展示ケース

「安倍能成を知る」

★4階えひめ資料室4階ロビー

**「知りたい!」をお手伝いします。レファレンス、相互貸借サービス****○レファレンスサービス**

皆様は、調べたいことがあるとき、どのような方法で情報を集めていますか？インターネットで調べる、家族や友だちに聞くなど、さまざまな手段で知りたい情報を探されていると思います。それでもわからないことや、より深く知りたいことについては、図書館がお助けできるかもしれません！

県立図書館では、本の貸出だけでなく、皆様の調べもののお手伝いをしています。これを、図書館用語で「レファレンス（調査・相談）サービス」と呼んでいます。

道端に生えていた植物の名前が知りたい、病院でもらった薬について調べたい、○○の詩が読みたいなど、多種多様な質問に、県立図書館が持つ約67万冊の豊富な資料やデータベースから最適なものをお探しし、回答しています。子どもの本に関することは、1階子ども読書室へ、郷土・俳句に関することは、4階えひめ資料室へ、その他一般的な事柄は、3階一般図書室へお気軽にお尋ねください。

ご相談は、カウンターはもちろん、電話、メール、ファックス、手紙でも受け付けています。県立図書館の資料だけでは回答しきれない内容については、国立国会図書館へさらに詳しい調査を依頼したり、専門機関をご紹介したりしています。

県立図書館が回答したレファレンスの一部は、「レファレンス協同データベース」(<http://crd.ndl.go.jp/reference>)という全国の図書館のレファレンス事例を集めたサイトに掲載しています。「愛媛県がキウイフルーツ生産日本一になった背景が分かる資料はないか」、「ブリの高級感が伝わるようなエピソードや、幻の魚と言われる所以が書かれた資料がほしい」など興味深い事例が公開されていますので、是非のぞいてみてください。

また、一般図書室では、子育て支援情報コーナー、医療健康情報コーナー、ビジネス情報支援コーナーを常設し、生活やお仕事の課題を解決する手がかりとなる資料も集めています。本棚を眺めれば、ぴったりの一冊に出会えるかもしれません。



1階子ども読書室



3階一般図書室



4階えひめ資料室

**○相互貸借サービス**

図書館には、他の図書館から資料を借り受けてご利用いただく、相互貸借（そうごたいしゃく）というサービスがあります。読みたい本があるのに、県立図書館に所蔵されていなかったときは、こちらをご利用ください。愛媛県内の公共図書館はもちろん、全国の図書館からご希望の資料をお探ししています。

同じように見える図書館でも、それぞれに特徴があり、所蔵している資料に得意分野があります。お互いの蔵書を貸し借りし、協力し合いながら皆様のご要望にお応えするのが、このサービスです。借り受けた資料は、その図書館や自治体の貴重な財産ですので、大切にお取り扱いください。

借受先の図書館が許可した資料は、県立図書館のカードを使って借り出したり、複写をしたりすることができます。お申込みは、ご来館のうえ、所定の申込用紙へご記入ください。これまで県立図書館では見つからずあきらめていた本を、もう一度探してみませんか？

県立図書館の窓口は、全国の図書館につながっています。情報を集める手段のひとつに、県立図書館をぜひお役立てください。

（相談グループ 伊井 友世）

## とびだせ！県立図書館

## ○「おでかけ県立図書館

## in ゆるキャラ® グランプリ 2016」

平成 28 年 11 月 5 日（土）～6 日（日）の 2 日間にわたり、5 万人規模の全国イベント「ゆるキャラ® グランプリ 2016 in 愛顔のえひめ」が、城山公園芝生広場で開催されました。

県立図書館が位置する堀之内で開催されるということで、図書館の広報を目的に、「おでかけ県立図書館 in ゆるキャラ® グランプリ 2016」と題して、ブースを出展しました。「ゆるキャラ® グランプリ」への出展は、都道府県立図書館としては、全国初の試みです。

ブースでは、ご当地キャラクターや俳句に関する図書の展示、県内図書館の所在を示した地図の掲示、パンフレットの配布のほか、図書館おみくじ（中学生以上対象）・読書おみくじ（小学生以下対象）、しおり作り、写真撮影用パネルの体験コーナーを設けました。そして、来訪者が、おみくじを引いたり、しおりを作ったりした後に、図書館に来てもらう次のようなしかけを工夫しました。

図書館おみくじには、運勢のほか、図書館のラッキースポット紹介を含めたひとこと、ラッキーブックの資料番号バーコードを印刷しておき、図書館のカウンターでバーコードをなぞると、ラッキーブックが分かるようにしました。

また、ブースで作成したしおりや、配布したしおりを図書館に持参した方に、対のしおりをプレゼントしました。

ブース来訪者は、2 日間で 2,019 名にのぼり、図書館の入館者数は、両日とも、11 月の 1 日平均を上回りました。

通常開館しながらのブース運営は、なかなか大変でしたが、これまで県立図書館に来館されなかったことがない方に、当館を知っていただく有意義な機会になりました。



図書館おみくじには、以前、図書館で使っていた目録カードとカードケースを使いました。

## ○「NHK「ラジオまどonna」への出演」

「ラジオまどonna」は、NHK松山放送局制作のラジオ番組で、毎週月曜日から木曜日の午後 5 時から、NHKラジオ第一で放送されています。

今年の 1 月初旬に、番組のパーソナリティを務める岡田留美さんから、一般図書室の企画展示「そうだ、笑おう」（1 月 4 日～2 月 26 日）について問い合わせがあり、それをきっかけに、当館職員が、1 月 30 日の番組で 20 分程度、図書館の PR をすることになりました。

当館の一般図書室・えひめ資料室・子ども読書室では、それぞれ 2～3 か月ごとにテーマを替えて、様々な展示をしています。67 万冊あまりの蔵書は、大部分が書庫に入っていて、日頃はなかなか利用者の目に触れることがありません。そこで、定番や、時節の話題、職員のおすすめなど、いろいろなテーマで切り取って展示することで、利用の少ない本に光をあてたいという狙いがあります。

番組では、そういった裏話も織り交ぜながら、各フロアの特徴や展示、催しものの紹介をしました。当日は、国会中継が延長した影響で放送時間の短縮というハプニングもありましたが、岡田さんがうまくまとめてくださり、無事終了しました。



より多くの県民のみなさんに当館を知っていただくため、その後も継続的に出演しています。「こどもの読書週間」に合わせた催し（4 月 20 日放送）や、「第 31 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム」に合わせた宇宙に関する展示及び県立松山南高校と連携して製作した電子資料（6 月 1 日放送）、「おでかけ県立図書館 in 松野」（7 月 3 日放送）などについて紹介しました。岡田さんによると、番組のリスナーは、家事をしている主婦や、車を運転中の人など様々で、県立図書館に来館されたことのない方々にも、当館を知っていただくいい機会になっています。

（相談グループ 橘 可奈子）

## 読書振興グループのこの一年

読書振興グループでは、県内全ての自治体の方々に向けて、読書振興の働きかけを行っています。ここで、この一年間の主な取組をご紹介します。

### ○おでかけ県立図書館in松野

好評だった昨年度の訪問に続き、今年度も8月2日に松野町山村開発町民センターにおいて、開催しました。

今回は、事前に当館職員が「読んで感動した県立図書館の本」を推薦し、手書きPOPも作りました。目立つ場所に配架した効果もあり、すぐに借り出されました。



時間をかけ、じっくり本を選ぶ親子や、小学校のプール開放終了後に小学生がどっと押し寄せるなど、図書館でよく目にする光景が見られました。改めて、読書環境の整備の必要性を感じました。

また、当日は町教育長さんをはじめ、多くの役場の方々にもご利用いただきました。

12時半から16時までの3時間半という限られた開館時間ではありましたが、暑い中、約50名の方にご来館いただきました。

### ○学校図書館整備支援事業

県内高等学校等の学校図書館の活性化を図ることを目的に、学校図書館整備における課題について、学校と連携して県立図書館が具体的な相談・助言を行う取組を始めました。

今年度は、県立長浜高等学校図書館の環境整備を支援しています。7月には当館職員3名が訪問し、古くなったり痛みが激しく使用が難しい資料などを選定する除架作業をお手伝いしました。



日々の整備は、担当の先生を中心に図書委員や美術部員などで行っています。引き続き助言等を行っていきませんが、どんな素敵な図書館になるのか私たちも心待ちにしています。

(読書振興グループ 東 智子)

### ○子ども読書支援センター3つの「ブックトーク」

「ブックトーク」をご存じでしょうか？子どもの読書への動機づけのために、1つのテーマで集めた本を、関連づけて紹介する手法です。

県立図書館の子ども読書支援センターでは、「ブックトークの県立」をキャッチフレーズに、子どもたちと本の出会いを応援しています。平成16年度から県内の学校約140校、220回以上にわたりブックトークを実施してきました。しかし、まだ一部の関係者にしか知られていないのが現状です。そこで、我々が実施している3つのブックトーク事業をご紹介します。

#### <ブックトーク>

様々なテーマに対応して行うブックトークです。フリーのテーマで行うもののほか、国際理解をテーマにしたヒューマントーク、環境問題をテーマにしたエコトーク、医療をテーマにしたメディカルトークを併せて実施する、連携ブックトークをしています。また、進路をテーマにしたキャリアトークもあります。

#### <授業DEブックトーク>

学校の依頼を受けて、授業のテーマに合わせて行うブックトークです。学習活動の中にブックトークを位置づけることで、子どもたちの読書への意欲が高まるだけでなく、学習内容を深め広げます。

#### <ブックトークはじめま専科>

ブックトークの実践者を増やすために昨年度から始めた事業です。教職員や学校・公共図書館、PTA関係者など、子どもに直接本を紹介できる皆さんにブックトークの基本やコツをお伝えし、実践するきっかけにしておこうという講習です。昨年は5回、151名の皆さんにお話しさせていただきました。

ブックトークというと難しそうですが、一冊の本を紹介することもブックトークです。是非、気軽にお気に入りの本を紹介してみませんか。

(読書振興グループ 松浦 雅人)



## 愛媛県読書グループ連絡協議会

## 総会並びに読書推進大会を開催しました

5月31日（水）、松山市道後姫塚のにぎたつ会館において「平成29年度愛媛県読書グループ連絡協議会総会並びに読書推進大会」を開催し、県内各地から読書グループ関係者、読書教育関係者、読書愛好者等195名が集まりました。

「愛媛県読書グループ連絡協議会」（略称「県読連」）は、1964年12月に発足し、今年で創立54年を迎える伝統ある団体です。「伝えよう読書のよろこび、広げよう感動の輪」をスローガンとし、県内の読書グループ活動の相互理解と更なる普及・発展を目指して、日々実践を重ねています。

事例発表では、西予市民図書館野村分館・大野美樹氏に、野村地域教育福祉複合施設“ゆめちゃんこ”についてお話しいただきました。読書ボランティアグループ「妻どりいむ」代表の西岡礼子氏には、十数年にわたる読み聞かせの実践について話していただきました。



長野 ヒデ子先生

研究協議では、多数の方から意見や感想を聞くことができました。年に1回、県内の読書グループ会員が集まって意見交換ができるのも、この大会の魅力の一つです。

午後からは、今治市出身の絵本作家・長野ヒデ子先生に「絵本と紙芝居の もっとある、ある面白さ！」と題してご講演いただきました。文庫活動しながら最初の絵本『とうさんかあさん』を出版されたことや、『おかあさんがおかあさんになった日』をアーサー・ビナード氏が英訳するにあたっての様々な努力のエピソード、日本で生まれた紙芝居の楽しみ方などをお話しいただきました。プロジェクターを利用して絵本の読み聞かせや紙芝居の実演も多数していただき、ユーモアあふれる話に会場は笑いで包まれました。

県読連は、今後も魅力ある活動を目指し、事業を続けてまいりますので、興味をお持ちの方は是非ご入会ください。問い合わせは、愛媛県立図書館までお願いします。



(読書振興グループ 白石 直美)

## 愛媛県立図書館の利用案内

## 【開館時間】

火曜から金曜…午前9時40分から午後7時まで  
土・日・祝日…午前9時40分から午後6時まで  
子ども読書室…午前9時40分から午後5時まで

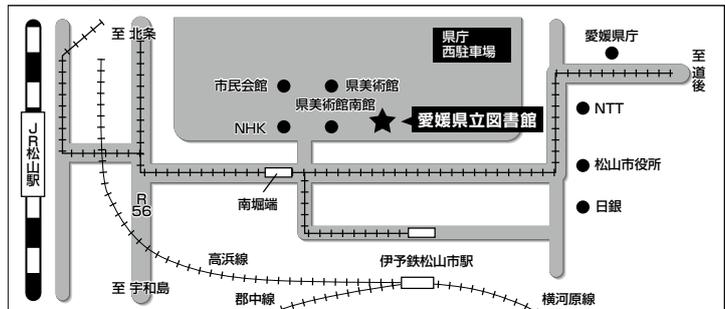
## 【休館日】

月曜日（祝日の場合は、直後の平日）  
年末年始（12月29日～1月3日）  
特別整理期間（10日以内で館長が定める日）  
館内整理日（毎月末日、ただし、その日が上記休館日、土・日曜日に当たるときは館長が定める日）

## 【駐車場】

図書館専用の駐車場はありませんが、県庁西駐車場（旧国際交流センター跡地）を2時間ご利用いただけます。ただし、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

## &lt;付近略図&gt;



編集・発行 愛媛県立図書館

〒790-0007 松山市堀之内 TEL 089-941-1441(代表) FAX 089-941-1454  
https://www.ehimetosyokan.jp e-mail: tosyokan@pref.ehime.lg.jp(代表)